

【資料】 令和4年度ごみ処理原価

【市のごみ処理】

部門		ごみの種類											合計（千円）	
大部門	小部門	燃やせるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ	資源物					リサイクル品	川ざらい土砂	給食施設 生ごみ		
					ペットボトル	プラスチック製 容器包装	びん類	かん類	古紙類					
作業部門	収集運搬部門	258,795	55,399	63,794	23,636	73,559	65,074	36,397	95,194	5,096	498	5,147	6,680	689,269
	中間処理部門	287,831	99,270	3,526										390,627
	最終処分部門	106,838	18,501	826								0		126,165
	資源化部門		11,595	118	2,500	7,754	4,268				7,532		1,488	35,255
管理部門		9,148	2,907	1,059	406	1,262	1,076	565	1,477	79	125	80	127	18,311
A ごみ処理原価（千円）		662,612	187,672	69,323	26,542	82,575	70,418	36,962	96,671	5,175	8,155	5,227	8,295	1,259,627
①ごみ処理量（kg）		37,810,930	2,577,080	361,510	303,320	873,290	694,830	312,480	1,694,920	29,950	2,825	615,160	84,535	45,360,830
②ごみ処理量（m3）		143,682	42,599	1,204	6,018	10,375	4,912	14,764	7,469	114	9	10,169	114,122	355,437
ごみ処理単価（円/kg） （A×1,000/①）		17.52	72.82	191.76	87.50	94.56	101.35	118.29	57.04	172.79	2,886.78	8.50	98.13	27.77
ごみ処理単価（円/m3） （A×1,000/②）		4,611.67	4,405.54	57,585.45	4,410.53	7,959.28	14,334.60	2,503.51	12,942.49	45,470.52	866,900.00	514.03	72.69	3,543.88
1人あたりごみ処理経費（円/人） （A×1,000/③）		5,777.57	1,636.38	604.45	231.43	720.00	614.00	322.29	842.91	45.12	71.11	45.58	72.33	10,983.17
1世帯あたりごみ処理経費（円/世帯） （A×1,000/④）		13,427.88	3,803.19	1,404.84	537.88	1,673.39	1,427.03	749.04	1,959.04	104.87	165.26	105.93	168.10	25,526.43

【集団回収】

部門		ごみの種類					合計（千円）
大部門	小部門	集団回収資源物					
		かん類	古紙類	布類	リターナブルびん	廃食用油	
作業部門	収集運搬部門	165	4,663	11	42	4	4,885
	中間処理部門						
	最終処分部門						
	資源化部門						
管理部門		3	72	0	1	0	76
A ごみ処理原価（千円）		168	4,735	11	43	4	4,961
①ごみ処理量（kg）		34,771	1,170,120	2,517	10,770	844	1,219,022
②ごみ処理量（m3）		1,676	4,776	30	76	47	6,605
ごみ処理単価（円/kg） （A×1,000/①）		4.83	4.05	4.37	3.99	4.74	4.07
ごみ処理単価（円/m3） （A×1,000/②）		100.24	991.46	366.33	564.72	84.57	751.06
1人あたりごみ処理経費（円/人） （A×1,000/③）		1.46	41.29	0.10	0.37	0.03	43.26
1世帯あたりごみ処理経費（円/世帯） （A×1,000/④）		3.40	95.96	0.22	0.87	0.08	100.53

令和4年度10月現在人口・世帯数

◎人口	114,687人
④世帯数	49,346世帯

- 収集運搬部門・・・ごみ（資源物）ステーションからごみ（資源物）を集めて、処理場へ運ぶまでにかかる経費です。
- 中間処理部門・・・ごみの焼却・破砕するまでにかかる経費です。
- 最終処分部門・・・焼却・破砕したごみを最終処分場で埋め立てるのにかかる経費です。
- 資源化部門・・・資源物のリサイクル処理にかかる経費です。本市では、「リサイクルコーナー」の運営にかかる経費も含まれます。
- 管理部門・・・事務や排出指導などにかかる経費です。

※マイナスの経費になっているものは、会津若松地方広域市町村圏整備組合に入った日本容器包装リサイクル協会からの拠出金が、負担金の減額として市に分配されたためです。